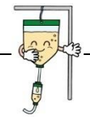
入院診療計画書

# 治療方針：肛門手術（当日入院） Ver.1.1

ID:
氏名：　　様
病棟（病室）：　　（　　）

年　月　日
推定される入院期間　：　2日間

【治療計画】

| 病名 | 日付 | 月　日 | | 月　日 |
|---|---|---|---|---|
| | 経過 | 入院日（手術当日） | | 手術後1日目 |
| | 達成目標 | ・必要性を理解し、不安なく手術が受けられる。 | ・疼痛コントロールが行え、早期離床が実施できる。 | ・退院後の生活の留意点が理解できる。<br>・術後合併症がおきない。 |
| 症状 | 安静度<br>リハビリテーション計画<br>退院 | ・リハビリテーションの介入が必要な方は、<br>リハビリテーション実施計画書を作成します。<br>・病棟内を自由に歩くことができます。<br>・病棟外（院内）へ出られる際は看護師に一声おかけください。 | ・手術後はベッド上で休んでください。<br>・寝返りや膝立てはできます。<br>・手術室から病室に戻り2時間後より歩行可能です。 | ・病棟内を自由に歩くことができます。<br>**午前10時に退院です。** |
| 特別な栄養管理の必要性<br>有 ・ 無 | 栄養管理計画 | ・栄養状態の確認を行い、必要に応じて栄養管理計画を立案します。<br>・入院後に飲食はできません。<br>**・手術当日の朝9時から飲水は出来ません。** | ・手術後は夕食から常食が摂れます。 | |
| その他の計画 | 薬剤管理計画 | 入院前から飲んでいた薬は<br>そのまま服用を続けて下さい。<br> | ・点滴を行います。点滴は本日中に終了になります。<br>・看護師、薬剤師から指示がある薬以外は服用を中止して下さい。<br>医師の指示によりますが入院前から飲んでいた薬を夕より再び飲み始めていただきます。<br>・夕より痛み止めの薬を飲みます。<br> |  |
| | 検査内容<br>及び日程 | | | |
| | 手術処置<br>内容及び日程 | | ・手術後は酸素マスクをつけることがあります。<br>・手術後2時間したら、看護師の指示で酸素マスクを外します。 | → 傷口を確認しガーゼを除去します。<br> |
| 在宅復帰支援計画 ＊ | 清潔<br>（シャワー・<br>入浴など） | | 入浴はできません。<br>手術前に病衣に着替えてお待ちください。 | ・シャワー浴や入浴が出来ます。<br> |
| 在宅復帰支援担当者名 | 排泄 | | ・手術室に入る30分前に排尿していただきます。<br>・手術室で全身麻酔後に尿を出すための管を入れます。<br>（手術終了時に管を抜きます） | ・尿の回数をチェックしてください。 |
| 総合的な機能評価◇ | 患者様及び<br>ご家族への説明 | ・外来にて医師が手術に関する説明をします。<br>・看護師が入院後の生活について説明します。<br>・看護師が入院・手術に必要な物品の説明をします。<br>・電話にて麻酔科医師による手術前の説明があります。<br>・これらの説明がなかった方は看護師もしくは担当医にご連絡下さい。 | 医師から手術結果について説明がありますので、<br>ご家族の方は入院されている病棟でお待ちください<br> | ・看護師が退院後について説明します。<br>・薬剤師が退院後の薬の内容と管理について説明します。<br>・医師が退院について説明します。 |

| 主治医以外の担当者名 | 看護師： | 薬剤師： | 理学療法士： | 管理栄養士： |
|---|---|---|---|---|

| 看護計画 | | 主治医 | |
|---|---|---|---|

注1）病名及び治療内容等は、現時点で考えられるものであり、検査・治療を進めていくにしたがって変わり得るものである。
注2）入院期間、表記の日時については現時点の予定である。
注3）＊印は、地域包括ケア病棟入院料（入院医療管理料）を算定する患者にあっては必ず記入すること。
注4）◇印は、総合的な機能評価を行った患者について、評価結果を記載すること。
注5）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等、様式の変更が直ちにできない場合、その他欄に記載してもよい。